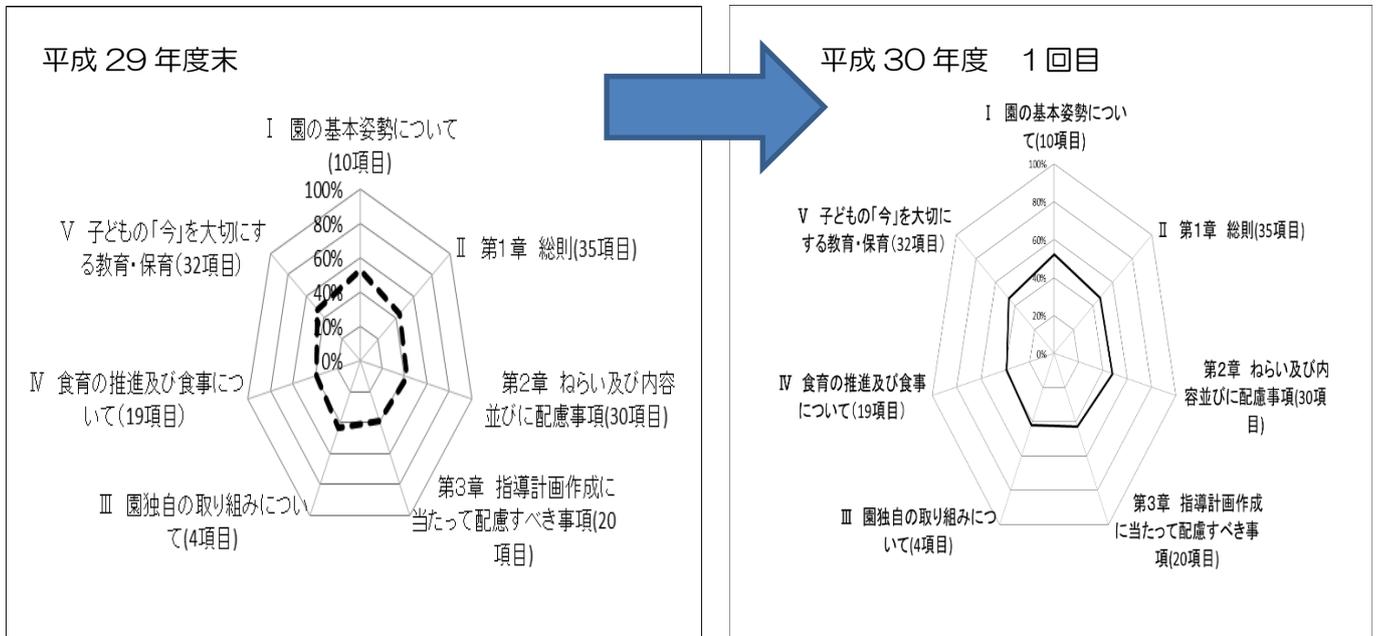


「保育の質の向上」の課題点

- ・職員間の密な連携
- ・発達を十分に理解した専門性
- ・子ども達を取り巻く適切な環境作り



「保育の質の向上」の取り組み

- ・研究保育
- ・勉強会
- ・目標値設定
- ・室内環境作り

取り組みを行ってきた結果・・・

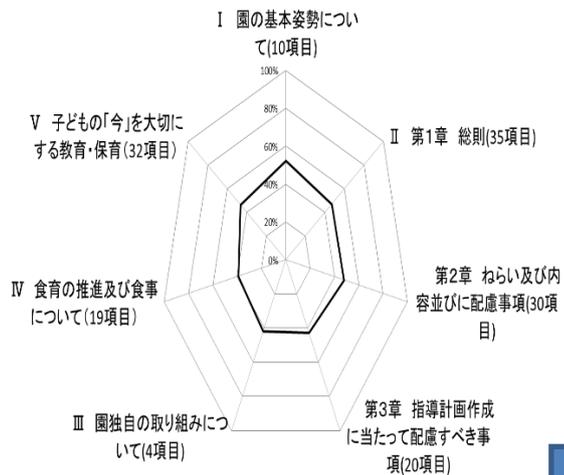
- ・「こうなってほしいと思う保育教諭の気持ち」が先行した保育、玩具作り
- ・個よりも全体を優先した保育の実施

質が向上したか否かの判断が難しい（目に見えない）

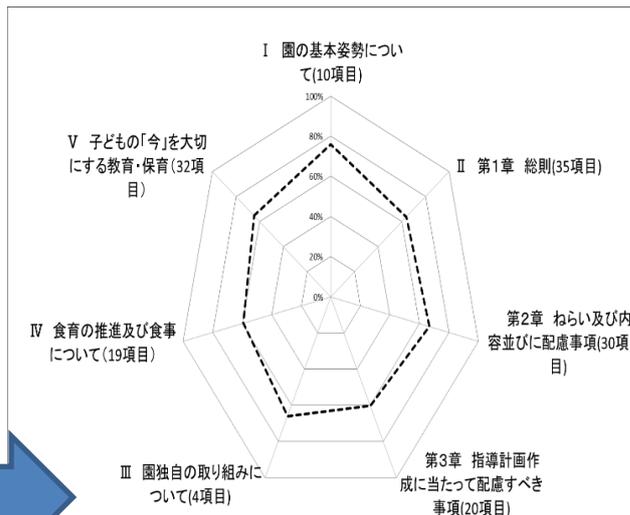
今後の課題

- ・他者からの評価
- ・目に見える変化が必要（環境作りの見せ合い）

平成 30 年度 1 回目



平成 30 年度 2 回目 年度末



発達に合わせた環境作りの取り組み

- 発達に合わせた環境設定
- 園内研修にて実践報告会
- 外部研修の報告会
- 研究保育での指摘、改善

自己チェックの結果が伸びた！！

今年度は「環境」にねらいをしばった結果、自園での保育環境の向上に向けて各々が目標を明確に立てられ、取り組みやすかった。また自園での環境として守っていきたいところや、再構成すべきところもわかり、職員間で共有することが出来た。

来年度（2019年度）の環境作りに対する課題点

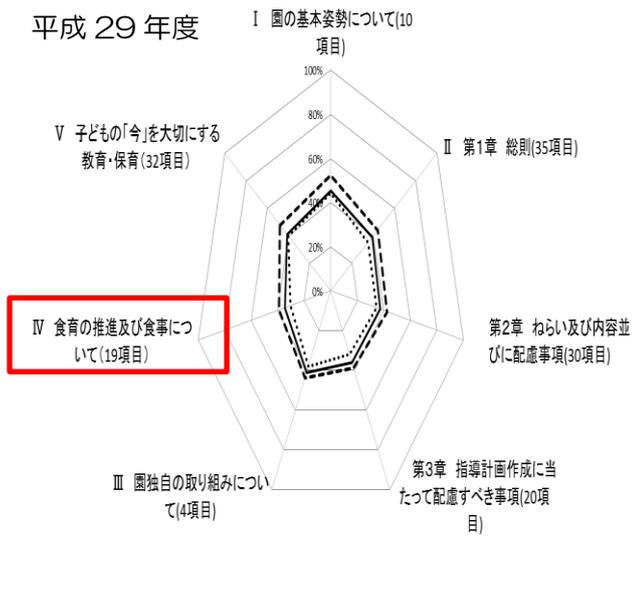
- 子どもが落ち着いて過ごせる生活環境の整備
- 発達を支える環境作り
- 発達を知る為の研究保育、勉強会

食育の課題点

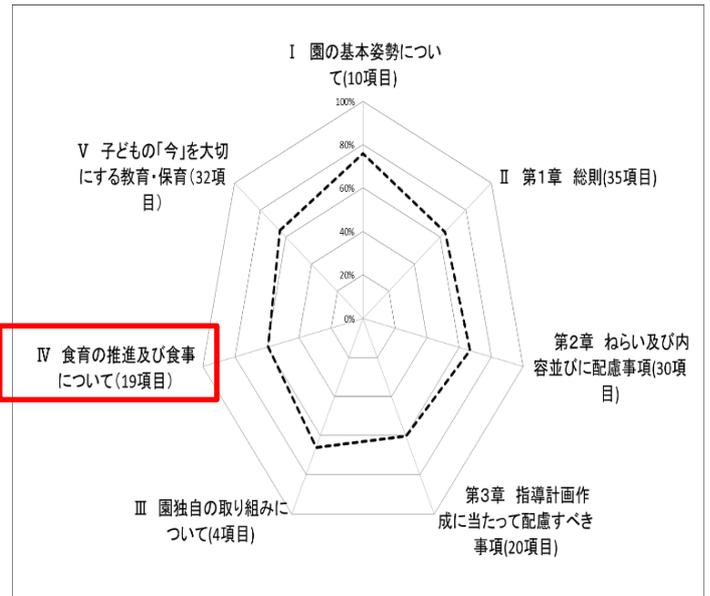
- ・食事環境の見直し（ランチルーム、各教室）
- ・食事のマナーの見直し
- ・3歳未満児の「食育」について（具体的な取り組み）
- ・職員の自己研鑽

園全体平均グラフ(保育教諭)

平成 29 年度



平成 30 年度



食育の具体的な取り組み

- ・講師を招いての研修実践（全職員対象）
- ・「楽しい食事」「食を楽しむ」ことを1番に考える
- ・食事のマナーの見直し

食育についての知識が身に付き、各年齢で実践を行っていったが、園として統一性がなく、バラバラな取り組みになってしまった。

今後の課題

- ・園児と給食室のつながり
- ・食事マナーについての物的環境の見直し
- ・保育教諭と給食室の連携
- ・楽しい食事の継続的実践（各年齢ごと）

食育の具体的な取り組み

- ① 楽しく食事のマナーを身に付ける為の実践
 - ・正しい姿勢で食事をしよう
 - ・挨拶をしよう
 - ・手洗い・食べた後の口をきれいにしよう
 - ・正しくスプーン・フォーク・箸を持とう
- ② 園独自の自己チェックの作成



職員全体の共通理解のもと、各年齢ごとに実践を行うことで、一人ひとりの食に対する意識が高まり、全体の結果として数値の改善が見られた。

来年度（2019年）食育の課題点

- ① 年齢に合った実践の積み重ねや継続性
- ② 子ども主体の取り組み
- ③ 子どもが楽しめる環境作り
- ④ 保護者と共に食育環境を考える